



「3.11 からの出発」

当館では震災後、陸前高田市を中心に支援活動をしてきました。今回は、地元で長年、子どもたちにお話と人形劇を届けてこられた馬場幸子さんに近況をお書きいただきました。馬場さんは「おはなしペパン」代表と、人形劇グループ「ポレポレ」代表を務めておられます。

7月20日、新しい陸前高田市立図書館が開館しました。2011年3月11日に全壊し、職員の大半も失いました。その後の仮設を経て、やっとできた図書館です。「おめでとうございます」の聲がそちこちであがりました。この日を迎えるためにがんばって下さっていた図書館員の方と「やっとですね」「これからです！」と



言葉を交わし、見知った顔を見つめる毎に、どんどんうれしさがこみあげてきました。

開館から2ヵ月たち、新しい図書館は、利用者を増やしてにぎわっています。天井が高く、木の香が漂う開放的な空間。コーナーを移動しながら、読みたかった本や未知の本に出会う喜び。テラス席もあって、好みの場所で本を広げたり、おしゃべりしたり。隣接する商業施設「アバッセ」（気仙地方の方言で「一緒に行こう」の意）からも直接出入りでき、買物のついでに「初めて図書館に来た」という声も聞きます。

児童コーナーでは、9月9日に初めての「おはなし会」が開かれ、「おはなしペパン」の会員が協力しました。震災前、図書館では、同会によるお話を行っていましたが、これからは図書館が主体となって、もうひとつのボランティア団体とともに協力する体制になります。図書館員とボランティアが意見交換しながら打ち合わせし、終わった後は反省会をして、更に良い時間にしていこうと確認し合いました。当日、図書館員の方が読む絵本『ぼくはあるいたまっすぐまっすぐ』でスタートした「おはなし会」。子どもたちと一緒に“おはなし”の海原に船出した瞬間でした。（馬場幸子記）

陸前高田市立小友小学校訪問（7月4日）——4月に異動があり、新しい先生方が5名着任されました。校長先生も初めてで、どんな方かとちょっと緊張して伺いましたが、新しい寺澤貴裕校長先生は読書に熱心で、すでに『子どもと本』（岩波新書）をお読みになっていた由。すぐに打ちつけてお話でき、うれしいことでした。子どもたちは、とても元気です。（松岡記）

●引き続き、活動資金へのご寄付をお願いいたします。

振込先：ゆうちょ銀行／郵便局 口座記号番号：00130-9-115393 加入者名：公益財団法人東京子ども図書館
ニュースレターのバックナンバー（2011年4月16日～）は、ホームページでご覧になれます。